

市議会だより No.52

平成31年2月15日

ご存知
ですか？



防府図書館の前身「三哲文庫」と創設者の上山満之進翁です。

上山満之進翁は明治2年（1869）生まれで、牟礼江泊村の出身。防府高校の前身、周陽学舎などを経て東京帝国大学に進学。卒業後は官界に入り、農商務省山林局長や熊本県知事、貴族院議員などを歴任。その後、台湾総督を務められました。退任後は、郷土の教育や文化に力を注がれ、私財を投じて三哲文庫の建設に着手されましたが、完成前の昭和13年（1938）7月30日に死去されました。
※三哲とは…上山満之進翁が尊敬した山口県出身の吉田松陰、品川弥二郎、乃木希典の3人の哲人（優れた人）のことです。

12月定例議会

議案の概要	P2
一般質問	P3～P9
会派・議会運営委員会・議会改革推進協議会名簿	
常任委員会名簿	P11

所管事務調査の報告	P9
視察報告	P10
議会日誌	P12
3月定例議会の予定	P12



議会中継がスマートフォンで見られます！ 防府市議会 🔍



小中学校 普通教室にエアコン設置

補正予算

危険ブロック塀を撤去・改修

平成30年

12月 定例議会

12月定例議会は、11月28日から12月21日までの会期24日間の日程で開催されました。

平成30年度一般会計補正予算など、議案13件、報告3件、選任4件、を審議し、上程された議案等は全て、全会一致で可決・同意しました。

人事

■固定資産評価審査委員会委員の選任

- 再任 藤原 由美子さん（高倉一丁目）
- 再任 秋本 園子さん（大字牟礼）
- 新任 村谷 真智子さん（岸津二丁目）

■公平委員会委員の選任

- 再任 岡村 眞次さん（大字高井）

条例

■防府市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部改正

市議会議員選挙における選挙運動用ビラの作成費用を公費で負担するよう改正するもので、条例名称にも「防府市長」の前に「防府市議会議員及び」が加わります。条例の施行日は、平成31年3月1日です。

■水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正

公共下水道事業の「工事完成の予定年月日」を4年間延長したことにより、工事完成時点における人口の推計値等が変わることから、「計画処理人口」及び「計画1日最大処理水量」を改めるものです。

一般議案

■指定管理者の指定

- ・中高年齢労働者福祉センター
指定管理者 公益社団法人防府市シルバー人材センター
指定期間 平成31年4月1日から平成36年3月31日まで
- ・地域職業訓練センター
指定管理者 ㈱ビジネススクール・オカモト
指定期間 平成31年4月1日から平成36年3月31日まで

・三田尻塩田記念産業公園

- 指定管理者 三田尻塩田記念産業公園保存会
指定期間 平成31年4月1日から平成34年3月31日まで

予算

■平成30年度一般会計補正予算

14億691万円を増額し、補正後の予算総額を426億15万9千円とする予算案が提出されました。

・小学校空調設備整備事業

市内12校の普通教室等への空調設備設置経費 (00億6,000万円)

・中学校空調設備整備事業

市内11校の普通教室等への空調設備設置経費

- ・小学校ブロック塀等対策事業 (3億4,420万円)
- 市内15校のブロック塀等の撤去及び改修経費 (1億1,262万円)

- ・中学校ブロック塀等対策事業 (8,208万円)
- 市内10校のブロック塀等の撤去及び改修をするための経費

- ・有形民俗文化財保存修理事業 (709万9千円)
- 国指定重要有形民俗文化財に指定されている製塩用具のうち経年劣化の著しいものの保存修理経費

- ・現年林業施設災害復旧事業 (1,931万8千円)
- 平成30年7月豪雨により崩壊した林道久兼奥畑線の法面復旧工事経費



エアコンは2020年夏までに完備予定



12月定例議会では、18名の議員が市政について質問しました。ここでは、質問者が要約した質問と答弁の内容を掲載しています。
 詳細については、防府市議会のホームページで会議録や録画を見ることができます。

農道牟礼小野線建設の是非



今津 誠一 (防府市政会)

問 この事業費は約17億円、その内4億円強を市が負担する。当初、事業の目的は小野の農産物を周南方面に輸送するためとされた。しかし、小野には相当する農産物の生産はなく、嘘話の建設計画だった。これについて市長はどのように認識しているか。

市長 平成5年頃、小野や徳地の農産物を輸送するのに効率がいいということで、地元県議から質問がなされ、着手されたと認識している。

意見 牟礼小野間の移動時間は既存道路と変わらない。予算をゼロベースで見直す市長の財政政策と整合しないのでは。

問 これまで、山の自然に手を加えると、必ずと言っていいほど災害が発生している。平成21年、2期工事の最中、ゲリラ豪雨による土砂崩れで真

尾の介護福祉施設が土砂に埋まり7名の犠牲者が出た。当該山地は真砂土で、被災の可能性が極めて高い。再び災害が起きる場合、多額の復旧費を要するが市長は責任を取る覚悟はあるか。

市長 この事業は県の事業で、防災に考慮した施工がされている。

意見 逃げてはいけない。市は県と連携して進めている。

問 市長は「地元の要望」を建設の理由に挙げているが、その内容は。

市長 農業の振興が目的と認識している。

問 山林等の買収費はいくらか。

産業振興部長 用地補償費は徳田強とされている。

意見 額の大きさに驚く。依然、得心のいかない点が多い。税金の無駄遣いにならないよう見守る必要がある。

中小企業支援策の充実と高齢者等戸別収集の要件緩和



河村 孝 (公明党)

問 中小企業支援策を知らない企業が多い。国・県・市の支援策の周知体制を見直し、整備するべきでは。

産業振興部長 企業に届く仕組みを各機関と検討。

問 人手や労働力不足から、若年者雇用対策の充実、経験豊富なシニア技術者の活用等、本市独自の新たな施策が必要では。

産業振興部長 女性、シニア層も含めた総合的な就労支援対策のため、山口しごとセンター等との連携も視野に入れた取組を積極的に進める。

問 市産業戦略本部で「中小企業支援では相談業務が重要」、「関係機関が連携して相談機能の強化を図ってはどうか」との意見があった。総合的な中小企業対策のため、中小企業支援機関の連携の強化と相談機能を充実・強化すべきでは。

市長 本市の実情に即した支援機関連携による支援体制をスピード感を持って構築するため、関係機関から成る検討会の設置を指示。今後、予算編成において、検討会の意見を聞き、支援機関相互の連携に基づく相談機能の強化等、実効性のある取組を検討・構築する。

問 高齢者等ふれあい戸別収集の利用要件の1つは、「要介護認定で要介護2以上の人」となっているが、「ゴミ出し支援が必要な人と要件があつていないことがある。要件を緩和して敷居を低くし、制度を使いやすくすることが必要では。

市長 制度開始3年目であり、相談の受付状況を検証し、ケアマネ、ヘルパー等の意見も聞き、支援を必要とされる方の現状を把握し、現状に応じた要件に変更したい。

子ども達の安全安心に向けた 取組について！



山田 耕治(絆)

問 子ども達が犯罪や事故等に巻き込まれた、巻き込まれそうになったという報告の件数は？

教育長 不審者に関する報告は、平成27年度33件、28年度17件、29年度32件、30年度は11月末で22件、交通事故については、平成27年度45件、28年度52件、29年度34件、30年度は11月末で23件。

問 事故発生箇所については、「通学路合同点検」へ落とし込むべきでは？

教育長 必ずしも一致していないが、関係機関と危険箇所の把握・改善に努めている。

問 小・中学校の防犯カメラ設置は？

教育長 必要であると考えており、各学校で設置場所について調査中である。計画的に取り組んでいく。



◆防府市の情報発信について！

問 ホームページのカレンダーに市のイベントを網羅すべきでは？

市長 議員の提案を受け、「たぶたびほつぷ」に掲載しているイベント情報も掲載し、対応した。

問 防府男塾のメンバーをPRしては？

産業振興部長 ホームページでの紹介等、塾生のモチベーションの向上を図る企画も検討する。

問 裸坊祭等、市で開催されるイベントに、防府観光マスコットキャラクターの「ぶつちー」を参加させては？

産業振興部長 話題性に富んだ工夫、イベントに向けた活用をしたい。

問 市の情報をスマホアプリで発信しては？

市長 費用対効果を考えながら、導入に向け検討したい。

農業試験場の誘致、 産業戦略本部について



曾我 好則(自由民主党清流会)

問 県は農業試験場と林業指導センターを農業大 학교に移転・統合する「農林業の知と技の拠点形成基本計画(案)」を公表した。市長就任後、要望活動をされた成果であるが、今後の本市農業の再生強化に向けての取組は。

市長 この計画では、先端技術開発、スマート農業等の先端技術教育、六次産業化の経営力向上など、新たな取組が展開されている。この拠点整備費は約50億円で、平成34年4月の供用開始が見込まれている。この画期的な拠点を全国に情報発信することで、農業関係の企業誘致、担い手確保、集落営農法人の育成等の施策を推進することも、この拠点形成を本市農林業の再生強化の新たなスタートと位置付け、農林業に雇用と活力を創出する取組を強力に進める。

要望 この計画は、本市にとつて、盆と正月とクリスマスが一緒に来たようなもの。将来、本市農業の発展に寄与することから、今後も県に最大限の協力をお願いする。

問 先日、「防府市産業戦略本部」の初会合があったが、今後の本市経済の活性化にどう活かしていくのか。

市長 今回、防府プランドや中心市街地の活性化、人手不足などについての意見等があった。関係各課で共有し、必要なものは事業化等を検討する。今後も会合を重ね、市の産業力の強化に努める。

要望 この4年間で山口市に22社、宇部市に16社も企業が進出したが、本市は1社だけであった。市長の県庁時代に培った経験で、巻き返しを図ってほしい。

免税軽油手続き・AEDの有効活用・ 農業担い手対策他3項目



石田 卓成(自由民主党)

問 7月議会で要望した軽油引取税の課税免除の手続きの進捗状況は。

市長 県と協議を重ねており、農業者に寄り添った支援を行っていく。

問 市民の命を助けるために、民間企業等が所有しているAEDを利用させてもらい、その際の消耗品費用を市が補填するように取り組んでは。

消防長 企業等にAEDを使用して良いかの聞き取りを行い、市民に対して利用された場合には必要な経費を助成する。

問 今年の消防職員委員会が出た意見は。

消防長 特殊勤務手当の見直しの要望があった。

要望 昨年、一般質問で取り上げ、消防職員委員会にも提出された、地域行事のお手伝いに伴う週休(休みの変更を認めてあげて欲しい)。

消防長 (こたけい)

問 クリーンセンターが遺品などを引き取る際、遠方に住む遺族が立ち会わなくても済むように、知人や業者による代理の立ち会いを認めては。

生活環境部理事 支障のない場合、対応する。

問 抗がん剤治療をしている方の医療用ウィッグや補正下着の助成を考えるとどうか。

健康福祉部長 助成制度の創設について県に要望することにも、市としても研究する。

問 県の農業試験場誘致に伴う、農林業の知と技の拠点との連携による農業担い手対策を、どのように考えているか。

市長 今後は拠点から、即戦力人材が多数輩出されるのが期待されるので、その受け皿となり、本市の農業をけん引できるように集落営農法人等の経営体を育成していく。

地域予算提案制度、地籍調査の早期実施、 ルルサス駐車場無料券の発行について



宇多村 史朗（自由民主党）

問 富海、小野地区では、地域夢プランを作成し、地域課題を整理している。地域予算提案制度を導入している自治体もあるが、地域の要望をどのように把握し、施策に活かしていくのか。

市長 各地域からの要望は、議員の皆様を始め、自治体や老人クラブなどの地域団体から意見をいただくとともに、地域行事に出席し、把握に努めている。また、地域予算提案制度については、地域の意見を施策に反映させる手法として今後の参考にしたい。

問 地籍調査の調査手順と調査の進捗状況は。

産業振興部長 国土調査法に基づき市が実施している。調査経費の内、国から二分の一、県から四分の一が補助されている。年度当初、国からの補助金交付額が示され、当該

年度の事業費が決まる。平成29年度の調査済面積は1・53km²。進捗よく率は全体の76・5%。

問 未実施の地域には森林境界明確化促進事業を参考に準備を進め、ドローン等を活用し、調査のスピードアップを図るべきと考えるがいかがか。

産業振興部長 森林境界明確化促進事業は実施していないが、関係者に周知していく。ドローン等の活用は有効な手段であるので、参考にしたい。

問 市民活動支援センター登録団体の希望者に対し40分の駐車場無料サービス券の交付を。

総合政策部長 「てんじんぐちパーキング・ルルサス」駐車後1時間の駐車料金は無料、会議室等の利用も無料としている。ご理解いただきたい。

要望 継続的に検討願いたい。

教育環境の充実について ホストタウン事業について



藤村 こずえ（防府市議会）

問 本市の通級指導教室は小・中学校合わせて3校の設置であり、県内他市と比べても明らかに少ない。児童生徒の健やかな成長、発達を保障するため、通級指導教室の増設を求めるが、市教育委員会のご所見はいかがか。

教育長 現在、本市では佐波小、華浦小、佐波中に通級指導教室が設置されているが、特別な教育的支援を必要とする児童生徒の数は年々増加、多くの保護者から通級指導教室の新設を求める声が届いている。新年度に向けて引き続き、利用希望の実態を把握し、県に対して、新設もしくは教員の増員など、強く要望していく。

問 3年前から本市はセルビア共和国のホストタウンに登録され、平成30年は、女子バレーボール世界選手権においてセル

ビア女子チームが見事初優勝に輝いた。ホストタウン事業の課題と、今後の取組について伺う。

市長 市全体としての盛り上がりは今ひとつの感があり、事前の周知が足らなかったと感じている。平成31年1月26日から始まる「ニコラ・テスラ展」は本邦初公開。周知に努める。

要望 本事業を2020年までの一過性に終わらせてはならない。本市を全国に発信する絶好のチャンスであり、持続的な地域活性化に繋げるため、大会後のレガシーの構築が大事である。

市長 関係団体、市民一体となつて「オール防府」でセルビアホストタウン推進事業を盛り上げていく。



ビア女子チームが見事初優勝に輝いた。ホストタウン事業の課題と、今後の取組について伺う。

共生型複合施設の整備について 都市計画マスタープランについて



上田 和夫（自由民主党）

問 大平園は土砂災害特別警戒区域内傾斜地などの危険区域にあり、老朽化も著しいことから、平成29年の議会で設備整備を求めたところ、市では早期に改築が望まれ、鋭意検討するとの答弁だったが、その後の進捗よく状況は。

市長 早期の改築に向け、庁内に協議会を立ち上げ、検討するように指示をした。大平園を共生型複合施設の中核として位置づけることなど、障害福祉施設の拠点として、具体的に整備を検討していくことにしている。

問 市街化調整区域における宅地開発で生活污水が用水路に流れ、農業が成り立たない農地が出たり、農水路や住環境などで負の面も出ているが、市の対応は。

土木都市建設部長 農地の安全・安心のためにどのような対応ができるのか前向きに検討していきたい。

土木都市建設部長 道路の設置、水路の蓋がけなどの施設整備は。

土木都市建設部長 道路の安全・安心のためにどのような対応ができるのか前向きに検討していきたい。

大平園は土砂災害特別警戒区域内傾斜地などの危険区域にあり、老朽化も著しいことから、平成29年の議会で設備整備を求めたところ、市では早期に改築が望まれ、鋭意検討するとの答弁だったが、その後の進捗よく状況は。



つづめ問題について



和田 敏明 (改革)

問 某新聞に「転校を柔軟にして不登校を減らす」というタイトルで、学区を見直し、逃げ場を作っては、という小学生による投げかけが掲載された。いじめ問題も同様であると思うがいかがか。

教育長 いじめなどの場合、区域外通学を認めているが、一気に規則を変更することは考えられない。この場では考えられない。

問 いじめに関してのアナケート調査を実施しているが、その回収方法によつては、更なるいじめが生じる可能性があると思いがいかか。

教育長 回収については、保護者から教師へ直接手渡しや郵送できるように改善したい。

◆ 他 市内の小・中学校で確認されたいじめの件数、いじめによる不登校者数、いじめ防止の取組内容やいじめが

確認された場合の対応等を質問。

要望 いじめを解決するには学校や保護者等が根絶に向けて立ち向かうことが重要であり、共に改善に努めてほしい。

◆ 測量、設計等の業務委託について

問 単独市費で行う程度の事業は、市の技術職員の方々に対応できるのではないが、また、事業課にも退職後の再任用や嘱託の実務経験が豊富な方々が配属されているが、うまく連携し、一体となつて事業に対する取組がされているのか疑問。

市長 再任用や嘱託職員を含む技術職員全員で連携しながら、可能な限りの業務を実行し、質の高い行政サービスに努める。

要望 一生懸命働いている納税者のためにも業務を効率良く、しかも経済的に進めてほしい。

防災対策の充実について ため池対策について



山本 久江 (日本共産党)

問 地域の災害対応力の向上のために、防災行動計画(タイムライン)の作成をどう考えているか。

市長 タイムラインは、防災対応の有効な手段の一つと認識している。また、県管理河川については、平成30年度中の策定に向けて鋭意協議を行っている。

問 最近の災害被害の特徴に、関連死の増加があるが、原因の一つに避難所生活があげられている。改善についての考えは。

市長 備蓄物資等の計画的な充実を図る。段ボールベッド等の資機材等についても民間との協定を締結したが、引き続き、その拡充に努める。

問 土砂災害危険箇所、土砂災害防止施設の整備が約3割と遅れている。県に強く要望を。

市長 未だ土砂災害防止対策が講じられていない箇所が多くある。より一層強く県に要望する。

問 農家の減少や高齢化等で、維持管理が困難なため池への対策は。

産業振興部長 梅雨前のため池管理マニュアルの随時配布や、パトロールを実施。改修は、県や市の土地改良事業により実施している。

問 防災ため池の対策は。

産業振興部長 5力所選定。2021年度で改修を終える。国の基準見直しの動向を注視したい。

問 ため池ハザードマップの活用と追加は。

産業振興部長 ホームページで公表し、出前講座も実施。今後、2力所ハザードマップを追加する。



小・中学校の普通教室のエアコン設置、 危険なブロック塀について



清水 力志 (日本共産党)

問 小・中学校の普通教室のエアコン設置は、どのように進めていくのか。

市長 実施設計完了後、順次工事に着手する。

問 エアコン使用で増大する電気料金について、国に補助の要望を。

教育部長 市長会などを通じて要望していきたい。

問 工事に当たっては市内業者を最優先に発注を。

入札検査室長 工事発注は、市内業者を最優先にしている。

問 小・中学校のブロック塀の撤去・改修は、どのように進めていくのか。

教育部長 補正予算が承認され次第、取り掛かり、早期に完了したい。

問 一般家庭のブロック塀等の状況と対応は。

土木都市建設部長 所有者管理としており、ホームページで点検項目を示している。

問 空き家のブロック塀等の状況と対応は。

生活環境部長 市民からの情報などに応じて現地確認実施。所有者に助言を行い、解決に努める。

問 住宅リフォーム助成事業の対象に、外構工事は含まれているか。

産業振興部長 耐震性向上が目的であれば、対象となる。

問 空き家の倒壊の可能性があるブロック塀について、市民に注意喚起を促す手段をお願いする。

生活環境部長 カラーコーン等を設置して、後に所有者へ連絡をしている。

◆ **その他の質問項目**
生活保護費の見直しによる市民生活の影響について



亀裂の入った
空き家のブロック塀

消防団員の報酬を経費使用は不適切 スピード感を持ち総合的に対処ー市長



三原 昭治(絆)

問 全国的に消防団員が減少しているが、本市の現状は。

消防長 条约定数4008人に対し、11月現在で387人。充足率95%だが、減少している。

問 団員確保策として、消防団を支援する消防団応援の店の実施を求めてきたが、その後の対応は。

消防長 商工会議所の協力で、進めていく。

問 具体的に、いつから実施するのか。

消防長 平成31年4月の開始を目標に進めている。

問 消防団員の報酬が個人振込となったが、他市でそれを団に入れるようにとの強要があり、問題化した事案もあった。同様の相談を受けたが、その原因は。

消防長 年間の運営費、経費として求めたことだと思つ。

問 消防団の必要経費は、団員報酬から捻出しているのが実態ではないか。

消防長 消防組織法では、活動に必要な運営費は消防本部で負担することにしている。

問 団員の報酬は国の地方交付税の算定基準で定められているが、本市はいくらになっているのか。

消防長 国の算定基準は月額3万6,500円で、市は3万3,500円。

問 市長の消防団に対する認識は。

市長 地域に密着し、災害時には一番頼りになる存在で、団員なくしては市の安全、安心は守れないと考えている。

問 報酬は労働の対価で、運営費、経費に使用している実態は不適切であり、解消すべきではないか。

市長 スピード感を持って、総合的に取り組んでいきたい。

農道牟礼小野線の早期整備について 今後の観光振興施策について



牛見 航(わたる)
(自由民主党清流会)

問 農道牟礼小野線の早期全線開通に向けて現在進められている整備状況や今後の取組は。

市長 7月には県知事に対し市議会、地元選出の県議と共に要望を行い、今年度の予算に1億円が追加され、実施設計、用地測量等が行われているところ。11月末に平成31年度の県予算等に対する要望の重点項目として、新たな拠点の誘致と併せて、早期整備を知事に要望した。一日でも早い開通に向けて取組を進めたい。

要望 先日の他議員の一般質問の中でこの建設の是非が問われ、費用対効果の話が出たが、県が主導する24年までの計画であり、一部防府市の費用負担もあるとはいえ、その効果がどれだけ最大化できるかが行政の手腕の見せ所だと考える。その中で全線開通に併せた農

業試験場の誘致、農業大
学校との統合はまさに最
高の一手であると考え、
この明るいう二コースに地
域住民の声は非常に高ま
っている。地元住民とし
ても試験場の供用開始に
併せて開通できるよう、
引き続き要望してほしい。

問 新しく設立された観光コンベンション協会と連携して行う今後の観光施策は？

市長 協会と緊密に連携し、様々な手法を駆使して国内外に防府市を売り込み、誘客に取り組んでいく。

要望 フィルムコミッションやインバウンド政策など、日本全国でも注目されるような尖った取組が必要だと思われる。日本一変わった市長を目指すと云われ、話題になった池田市長には是非日本一変わった取組を期待したい。

中山間地域の振興について



清水 浩司(防府市政会)

問 小野地域を活性化させるための拠点づくりには市の支援はできないか。

市長 活性化協議会の「夢プラン」が住民主体で進むことを期待している。

地域活
性化に
ついて
は、調
整はこれからだと思う。
地域で具現化に取り組んでほしい。

問 特色ある学校づくりで生徒数を確保する方策について考えは。

教育長 小野小・中学校では、学校運営協議会と小野WANネットによる保護者と地域住民の連携で、地域と学校が一体となった取組が進んでいる。小・中学校の9年間の連携強化を進めており、子どもたちが地域で学び続けたいと思うような支援を続けていく。

問 介護予防と買い物支援を同時に行う小野地域ディスプレイションの支援策について。

市長 ディスプレションは、65歳以上の高齢者を対象に、公民館等で介護予防教室や買物などの生活支援を一体的に取り組む地域住民の運営による活動で、市は一般介護予防事業として補助金を交付している。利用者の拡大に向け、地域包括支援センターの呼びかけや、自治会や民生委員と連携し、多くの参加を促したい。

問 ディスプレションが始まることから、福祉関係の予算の推移は。

健康福祉部長 小野、玉祖地域では平成30年度に開始したばかりで事業の成果は測れないが、向島地区では介護予防の意識が高まっており、将来的に介護関係の予算の抑制などが期待される。介護予防の取組を充実させたい。



小野活性化協議会

文化を活かしたまちづくり 子どもの貧困対策推進を



田中 健次 (市民クラブ)

問 本市は、歴史と文化を有しており、文化を活かしたまちづくりを提案したい。都市に対する市民の誇り「シビックプライド」の視点をまちづくりに活かすべきでは。

市長 「シビックプライド」の視点も持ちながら、本市にふさわしいまちづくりを進めたい。

問 文化財郷土資料館の展示スペースの拡大を。

教育部長 庁舎建設と併せ、公共施設全体の整備方針を策定する中で検討したい。

問 旧防府商参会館を大村能章記念館として整備しよ。



旧防府商参会館

教育部長 平成29年度に公有化し、国の登録有形文化財への申請準備中。記念館は、活用策のひとつとして研究したい。

問 ふるさと美術館を整備すべきでは。

総合政策部長 以前、市美術連盟から市ゆかりの芸術家や市民の作品を保管展示できる施設の要望を頂いているが、現段階での整備は難しく、長期的課題と捉えている。

問 生活困窮世帯への学習支援事業の拡大を。

健康福祉部長 平成27年10月に事業を開始。現在開催している学習会は、当面1カ所での開催を考えている。

問 ひとり親家庭等自立促進計画の策定を。

健康福祉部長 県内他市町の動向も踏まえ、今後研究したい。

**◆ 新年度予算編成
その他の質問項目**

所管事務調査

総務委員会

(10月19日開催)

■天体観測施設整備事業の経緯 「これまでの経緯」

昭和62年	防府ゴールデンライオンズクラブより32cm天体望遠鏡(以下望遠鏡)の寄贈を受け、文化福祉会館屋上の天体観測ドームに設置
平成12年12月	建物劣化により使用を中止
平成19年8月	山口県天文協会と覚書を締結 [内容] 防府市は山口県天文協会に望遠鏡を無償譲渡し、山口県天文協会は山口県天文協会の負担により望遠鏡を設置(ソラールを予定)し、維持管理を行う。
平成19年	文化福祉会館屋上から望遠鏡を撤去し、製造元で保管
平成21年2月	防府市天体望遠鏡移設検討委員会が「望遠鏡の有効活用に関する提言」を防府市教育委員会に提出
平成21年10月	設計業務委託の入札
平成23年3月	成果品を受け取り、設計業務委託完了

「望遠鏡の有効活用に関する提言」の内容

- ① 移設の候補地は青少年科学館敷地北側とする。
- ② 天体観測施設の構造は、鉄筋コンクリート造スライドルーフ式大型屋根とする。
- ③ 管理運営はボランティアを活用し、管理には専門職員配置が望まれる。

「その後」

山口県天文協会からスライドルーフ式の構造について、市の設計では望遠鏡を設置できず、大幅な設計の見直しが必要との指摘がありました。その後も定期的に話し合いを行いました。施設整備をした場合、多額の費用が掛かることなどの理由により設備計画については取りやめるという結論に至りました。



教育民生委員会

(11月12日開催)

■災害廃棄物の処理計画 「防府市災害廃棄物処理計画」

重点項目

- ① 最も被害が大きいと想定される災害で発生する災害廃棄物の発生量の推計及びその処理対策
 - ② 災害廃棄物を一時集積・保管する仮置場の確保対策
 - ③ 発生頻度が高いと思われる風水害による災害廃棄物、特に土砂災害廃棄物処理対策
- 「委員要望」
臨海部に工場群があるので、化学薬品に対する対策や災害時の協力支援体制の整備を図ってほしい。

■学校教育

「全国学力・学習状況調査」

教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、児童生徒への教育指導の充実や学習状況改善等を役立てるために調査が行われた。

「防府市の結果」

小学校では全ての区分において全国平均を上回っているが中学校では、数学Aは全国平均と同等であるもののその他の区分は全国平均を下回っている。

「委員要望」

どのような子ども像を目指すのかを念頭に、9年間の義務教育を、今後、一貫教育も含めて小・中が連携し、教育カリキュラムの体制を見直し、レベルが上がるように取り組んでほしい。



視 察 報 告

総務委員会

(11月6日～8日)

■ゆめづくり地域予算制度

(三重県名張市)

街づくりを「住民が自ら考え、自ら行う」ことを目指し、誰もがいきいきと輝き暮らせる地域をつくるために創設された制度で、使途自由で補助率や事業の限定がない交付金を地域づくり組織に交付しています。各地域づくり組織は、この制度を活用し、地域の課題解決のための事業を自ら実施しています。

■知多広域消防指令センター

(愛知県知多市)

知多地域6消防本部の通信指令室を集約し、119番通報の受信等を共同運用。これにより、施設の効率的な運用、大規模災害時にリアルタイムな情報の共有、各消防本部の連携強化、迅速な相互応援出動が可能となる等の効果をもたらしています。



■豊橋市シティプロモーション

(愛知県豊橋市)

地域の持つ資源を活用し、様々な視点を盛り込んだ効果的なシティプロモーション活動に取り組んでいます。この事業では、「対内投資」「交流人口」「定住人口の増大」を図り、自立した魅力あふれる都市の実現を目指しています。

教育民生委員会

(10月17日～19日)

■英語教育

(千葉県船橋市)

国際化社会に対応するため、小中一貫英語教育を指導推進。小学校低学年から英語に興味・関心を持たせ、周囲との関わりの中でコミュニケーションの楽しさを感じるよう指導し、児童にわかりやすく達成感や充実感を味わえる授業を心掛けています。中学校では卒業時まで英語によるコミュニケーションができる生徒の育成をしています。

■子どもの貧困対策

(千葉県柏市)

「充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち」を重点目標に掲げ、貧困対策推進計画を策定。支援が必要な子どもを早期に発見し、アウトリーチをかけ、必要な支援につなげています。また、子どもの居場所確保支援や健全な養育環境確保に取り組んでいます。

■介護予防・生活支援サービス事業及び地域包括ケアモデル

(愛知県豊明市)

「豊明団地」をモデル地区とし、市・大学・UR都市機構の協力で開始。市外温泉からの無料送迎バスの運行や購入商品の無料配送サービス等、公的保険外サービス等の創出に取り組んでいます。今後の方向性は、「できるだけ普通に暮らせる幸せを守り支えるために役立つものを探し出す、無ければ創り出す」とのことでした。

産業建設委員会

(10月31日～11月2日)

■商店街活性化の取組

(神奈川県横須賀市)

様々な商店街で独自の取組が行われている横須賀市を視察。ある商店街では、ワイナリーでワインを製造し、横須賀海軍カレーに次ぐ特産品となっています。きっかけは、地元が商店街に「まちなか研究室」を設置し、その活動の中で、学生から提案されたことで販売収益は、まちづくりに使われています。

■道路通報アプリ

(神奈川県相模原市)

相模原市の道路通報アプリ「パツ！撮るん。」は、スマホで、道路の破損状況等を写真で送れば、現在地とともに市に通報がいく仕組みです。休日や夜間でも通報でき、市も、正確な位置や現地状況を把握できるため、効率的な対応が可能。情報提供者へ、お知らせ機能で、どのように対応したかの通知もされます。

■田園バレー事業

(愛知県長久手市)

長久手市は、「農のある暮らし、農のあるまち」の実現を目指し、田園バレー基本計画を策定。農産物の直売所を備えた「交流施設あぐりん村」は、年間45万人の利用があります。



陳澄波の絵画が帰ってきます！



陳澄波の「東台湾臨海道路」 昨年5月に開催された上山満之進翁没後80年展で一時帰郷、展示

台湾近代美術の巨匠、陳澄波の「東台湾臨海道路」が今秋、福岡アジア美術館から返還されることになりました。

この絵画は、防府図書館の前身である三哲文庫の創設者で、台湾総督だった防府市出身の上山満之進翁が所有し、亡くなられた後、遺族が市に寄贈したもので、元は防府図書館で展示されていましたが、防犯などの管理を理由に、市は福岡市と寄託契約(期間10年)を結び福岡アジア美術館で保管、展示されていました。

これに対し、上山満之進翁の遺族や議会などが、市の貴重な財産として、縁のある地元で管理するよう求めていました。

防府図書館での展示に向け、準備を進めています。

会派・議会運営委員会・議会改革推進協議会名簿

(平成30年11月28日現在)

会派名	人数	所属議員名 (◎代表者)	議会運営委員会 (任期1年) (◎正副委員長)	議会改革推進協議会 (任期2年) (◎正副会長)
自由民主党	5	◎上田和夫 石田卓成 宇多村史朗 松村 学 行重延昭	石田卓成 ◎上田和夫	石田卓成
自由民主党 清流会	5	◎河杉憲二 牛見 航 曾我好則 橋本龍太郎 安村政治	牛見 航 ○曾我好則	牛見 航
防府市政会	4	◎清水浩司 今津誠一 田中敏靖 藤村こずえ	今津誠一 清水浩司	○藤村こずえ
公明党	3	◎山根祐二 河村 孝 高砂朋子	山根祐二	河村 孝
絆	2	◎山田耕治 三原昭治	三原昭治	三原昭治
日本共産党	2	◎山本久江 清水力志	山本久江	清水力志
改革	1	◎和田敏明		和田敏明
市民クラブ	1	◎田中健次		田中健次
爽風会	1	◎吉村祐太郎		吉村祐太郎
無所属の会	1	◎久保潤爾		◎久保潤爾

※会派は、主として政策に関して同一の理念を共有する議員が集まってつくる集団です。この会派を中心に議会活動をしています。
 ※防府市議会では、現在10の会派が構成されています。

常任委員会名簿 (任期2年)

(平成30年11月28日現在)

委員会	委員数	所属委員名 (◎委員長、○副委員長)	所管事項
総務	8	◎三原昭治 久保潤爾 ○牛見 航 清水力志 上田和夫 田中敏靖 河村 孝 橋本龍太郎	防災・企画・財政・文化・スポーツ・消防・選挙など
教育民生	9	◎高砂朋子 清水浩司 ○藤村こずえ 田中健次 宇多村史朗 松村 学 河杉憲二 吉村祐太郎 和田敏明	税務・戸籍・環境・健康・福祉・教育・文化財など
産業建設	8	◎安村政治 山田耕治 ○石田卓成 山根祐二 今津誠一 山本久江 曾我好則 行重延昭	産業・観光・道路・上下水道・競輪など
予算	24	◎山根祐二 ○久保潤爾 (議長を除く全議員)	一般会計予算

議会モニター募集中

市議会では、幅広いご意見をいただき、議会運営に反映するため、現在、議会モニターを募集しています。任期は平成31年4月からの2年間です。2月28日までに所定の申込用紙で議会事務局までお申し込みください。※申込用紙は防府市議会ホームページに掲載しています。



議場で恒例のコンサート

1月11日、議会棟議場において、第18回防府音楽祭「ほうふニューイヤーコンサート」のオープニング街角コンサートが開催され、96名の方が来場されました。

尺八奏者の石垣征山さん、ヴァイオリン奏者の山下陽子さん、ピアニストの喜多村裕美さんが、組曲「惑星」より「木星(ジュピター)」、「家路(交響曲第9番「新世界より」第2楽章より)」などを演奏されました。

市民の皆さまに議会を身近に感じていただけるよう、議会改革の一環として会場を提供しており、平成26年から開催されてきたコンサートも6回目となりました。

これからも気軽に足を運んでいただければ幸いです。



議会日誌

11月

- 6日 総務委員会行政視察(～8日)
- 9日 議会地方創生委員会
- 12日 教育民生委員会(所管事務調査)
- 22日 勉強会
全員協議会
- 26日 議会運営委員会
- 28日 12月定例議会開会
広報編集委員会

1月

- 9日 全員協議会
- 11日 防府音楽祭オープニング街角コンサート
(議場)
- 15日 広報編集委員会
- 22日 広報編集委員会
- 25日 議会モニターとの意見交換会
- 29日 議会改革の視察受入(兵庫県洲本市)
- 31日 議会改革の視察受入(滋賀県守山市)

12月

- 3日 一般質問
- 4日 一般質問
- 6日 一般質問
- 7日 一般質問
議会運営委員会
- 11日 予算委員会(全体会)
議会改革推進協議会
- 12日 常任委員会・予算分科会(総務)
- 13日 常任委員会・予算分科会(教育民生)
- 14日 常任委員会・予算分科会(産業建設)
- 18日 予算委員会(全体会)
勉強会
議会運営委員会
- 21日 12月定例議会閉会
広報編集委員会
- 26日 広報編集委員会

市議会だより音声版

ほうふ市議会だよりの音声版を作成しています。
無料で提供または貸出をしますので、ご希望の方は、
障害福祉課へお越しください。

問合せ 障害福祉課(1号館1階・☎25-2387)

3月定例議会の予定

- 2月22日 本会議(開会)
予算委員会(全体会)
- 25日 常任委員会・予算委員会分科会(総務・
教育民生・産業建設、現年度分)
- 26日 予算委員会(全体会・採決)
- 28日 本会議(現年度採決、市長施政方針等)
- 3月 4日 本会議(一般質問)
- 5日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 11日 予算委員会(全体会)
- 12日 常任委員会・予算委員会分科会(総務)
- 13日 常任委員会・予算委員会分科会(教育民生)
- 14日 常任委員会・予算委員会分科会(産業建設)
- 18日 予算委員会(全体会・採決)
- 25日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記

今号から、議会広報編集委員会のメンバーが交代しました。市民の皆さまに少しでも興味を持っていただけるように、表紙では防府市出身の著名人を紹介するほか、写真やイラストを活用し、市民生活に直接かかわる内容には重点的に見出しを付けるなど、身近で分かりやすい議会だよりの作成に努めてまいります。

皆さまのご意見をお待ちしております。



議会広報編集委員会

◎田中敏靖 三原昭治
◎和田敏明 安村政治

高砂朋子 吉村祐太郎

松村 学

◎委員長、◎副委員長